

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	成人保健(歯科保健を含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-02	氏名	末長章彦	
			電話	64-1819	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	生活習慣病を予防し、健康的な生活習慣実践を普及する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	自分の健康に気をつけている市民の割合は、平成18年市民意識調査でも高い比率(88.1%)であったが、平成19年度調査ではさらに0.3ポイント上昇している。市民一人ひとりが生活習慣を見直すとともに、健康診査を受け心疾患、脳血管疾患などの危険因子とされる糖尿病、高血圧症、高脂血症の早期発見や予防に努める方向に誘引しなければならない。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 各種成人健康診査 健康教室、健康相談などによる保健指導 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 老人健康診査事業	B	基本健康診査事業	法定事務	62,246	8,683	55,493	3,850			
2 各種検診事業	B	骨粗鬆症検診事業	法定事務							
		子宮がん検診事業	ソフト事業							
		乳がん検診事業	ソフト事業							
		胃がん検診事業	ソフト事業							
		大腸がん検診事業	ソフト事業	34,639	12,592	30,192	10,495			
		肺がん検診事業	ソフト事業							
3 健康教育事業	B	健康教育事業	法定事務	1,212	8,681	1,075	8,405			
4 健康相談事業	C	健康相談事業	法定事務	1,339	6,501	1,244	5,155			
5 機能訓練事業		機能訓練事業		844	4,395					

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	141,132	115,909	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	40~64歳の男性受診率が24.2%と低調であった	3	65歳未満の対象者の受診意識が低い。
2 事業構成の適当性	4	生活習慣病を予防するため健康診断事業を中心に据え、各種事業を構成している。	3	生活習慣病を予防するための各種事業は妥当である。
3 施策の有効性	4	元気で高齢期を迎えるための施策であるが、医療費の増高に歯止めをかける効果が期待されている。	4	医療費適正化の総合的な推進施策であり有効である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	受診率の向上を図り、個々の健康状態に応じた保健指導を実施していく必要がある。また、健康教育・健康相談事業を効果的に展開し、生活習慣病の予防に努めなければならない。			新設の総合保健施設の適正かつ有効な運営により保健事業を推進し、医療費の抑制に努める必要がある。また、保険者は医療費適正化の一環で実施する特定検診・保健指導において、国が示す特定検診実施率などの目標値を設定し総合的に取り組んでいく必要がある。
二次評価者コメント 役職 保健福祉部長 氏名 鷓川 晃匠	今日、最重要課題として取り組まなければならないのが、生活習慣病対策である。生活習慣病で亡くなった人は61%で、国民医療費31.5兆円中30%を占めていると報告されている。国、県の施策が予防に重視していく方向転換がなされる中、市としても市民一人ひとりの生活習慣の改善及び健康相談など専門家を交えた保健指導を推進していく必要がある。平成20年度予算の方向性としては、事業実施に伴い予算の組み替え等があることから見直しを行い減配分とする。			平成20年度 予算の方向性 減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

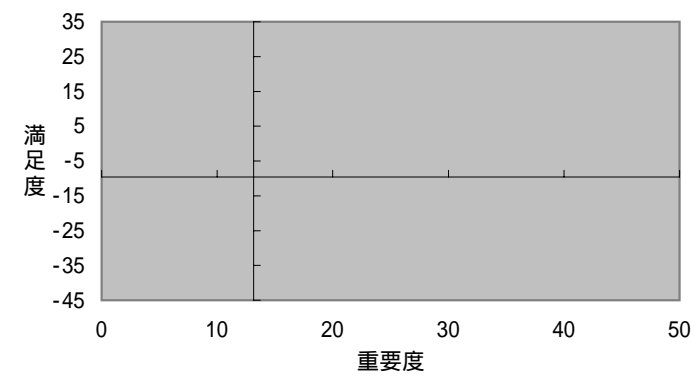
<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

重要度 ← 低 → 高



調査結果に対するコメント、市民の反応等	自分の健康に気をつけている市民は増加している。健康づくりに関するアンケート項目と関連が深く、多くの市民が生活習慣病の予防を望んでいる。(健康)
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 自分の健康に気をつけている市民の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	市民意識調査
	実績	%	88.1	88.4			
	達成率	%	88.1	88.4			
2 基本健診(40~64歳)における肥満気味者及び肥満者の割合	目標	%	33.4	26.5	26.5	26.5	基本健診肥満者等/40~64歳受診者
	実績	%	38.4	29.9			
	達成率	%	115.0	112.8			
3 基本健診受診者の内40~64歳の受診率	目標	%	53.5	45.0	65.0	65.0	個人情報保護法により勧奨減少
	実績	%	51.8	40.8			
	達成率	%	96.8	90.7			
4 基本健診受診者の内40~64歳男性の受診率	目標	%	50.0	50.0	50.0	50.0	個人情報保護法により勧奨減少
	実績	%	36.7	24.2			
	達成率	%	73.4	48.4			